

那須塩原自然観察プロジェクト

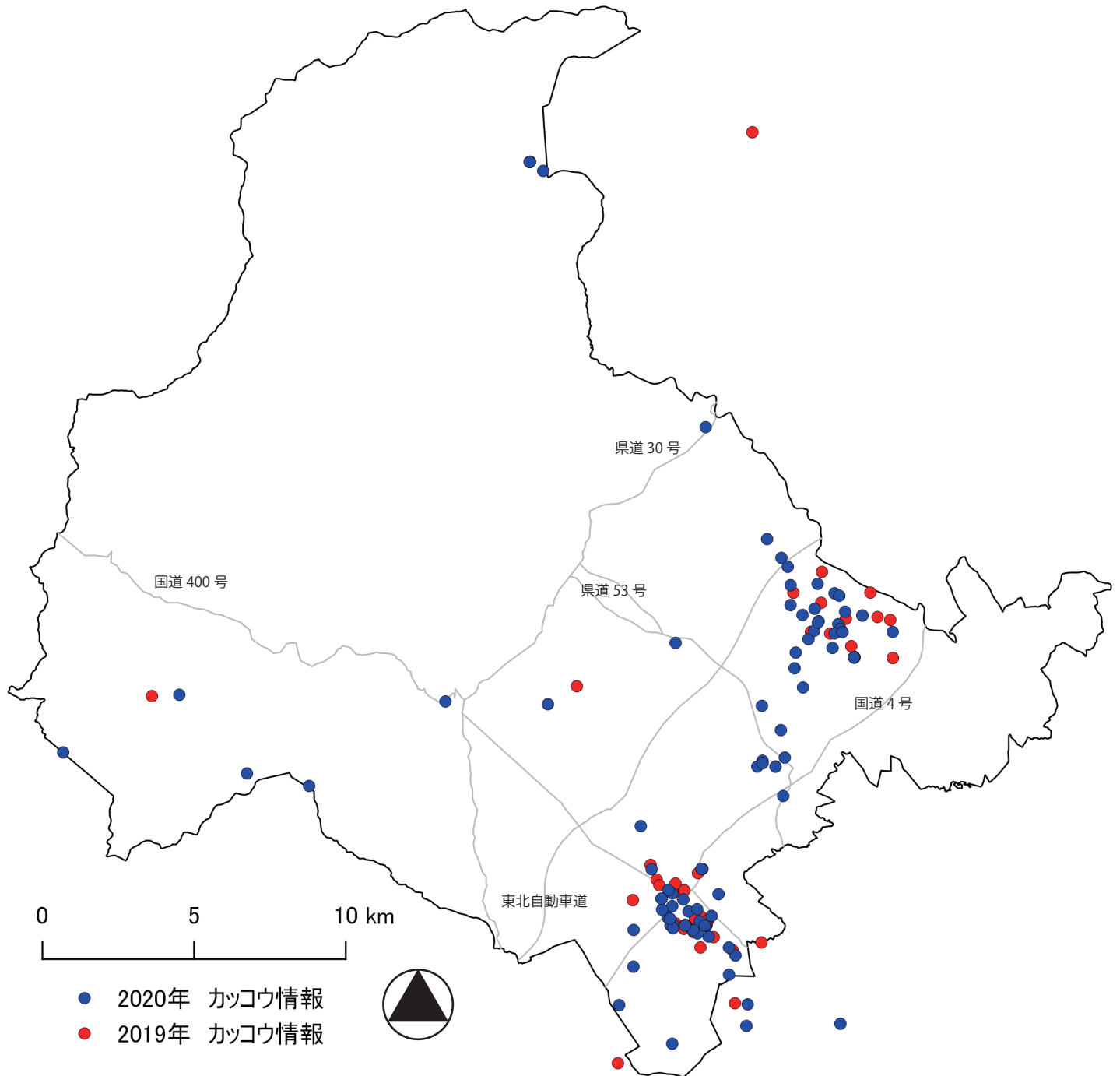
なはくりサーチ 2020

Nahaku Nature Research Project

調査報告

カッコウの鳴き声を聞きましたか？

調査期間：2019/5/20-7/31
2020/5/20-7/31



■2019-2020年の調査でカッコウの情報が得られた地点

- 調査報告 -

2020年のカッコウ鳴き声調査で集まった情報は全部で118件(うち調査期間外24件、市外4件)でした。本年は昨年よりも多く情報をいただき(昨年は60件)、電話による受付と広報による周知が功を奏したようです。

昨年に比べ那須塩原駅や山地、市中央部の情報は増えましたが、西那須野と黒磯の市街地での情報が昨年と同様多い結果となりました。

市北西部の山地は道もなく人が入りづらいため情報が得られなかったと考えられますが、人通りのある塩原の温泉街や市東端の鍋掛・越堀・寺子などでも2年連続で情報がないところがありました。

市街地に情報が多くなった理由としては、人口密度が高く観察者が多いためだと考えられます。逆に農村部や山地での情報が少ないのも観察者が少ないことが要因として考えられます。

このほかの要因としては、カッコウが托卵する宿主との関係が考えられます。市街地には宿主であるオナガが生息しているため、生息地が多いと考えられます。また、山地でも宿主となるビンズイやホオジロ類、ヒタキ類などが多いところでは情報が得られると考えられます。

しかし、箒川の河川敷草原にはホオジロ、ホオアカ、モズ、セキレイ類、オオヨシキリなど宿主となる種が生息しているのですが、情報が得られていません。2014年に日本野鳥の会栃木県支部が栃木県全域を対象にアンケートでカッコウの分布調査をした際も、那須塩原市では同様の結果が得られました。とすると、箒川河川敷周辺ではカッコウが生息するには宿主の生息数が少ないのかもしれませんが、現在、カッコウは宿主の多い良好な場所だけに生息している可能性も考えられます。これらを明らかにするにはより詳細な研究が必要です。

いずれにせよ市内におけるカッコウの分布の現状を、今回の調査で明らかにすることができました。今後の分布の変化を見るためにも、現状が明らかになったことは大変意義あることです。同様の調査を数年後、さらに数年後と継続することでカッコウの分布がどのように変化するかを見ることができるようになります。

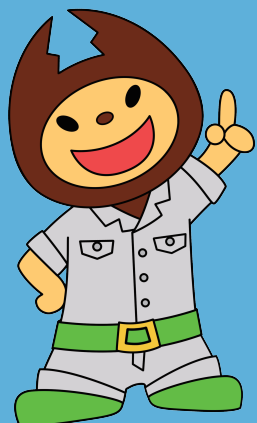
カッコウ調査は本年で一旦終了しますが、また数年後調査を行うことがありましたら再度ご協力いただけると幸いです。

情報提供にご協力いただいた下記の方々および匿名の方々に厚く感謝いたします。

粟野誠一/池沢光子・小野寺久美子/石井とも子・徹朗/稲沢敏夫/井上美都/岩本和成/薄井正明/遠藤卓/大貫啓子/大貫貢/大野千里/小川瑛司/小川祥子/勝間田昭彦/亀山尚紀/菊地真美/小池洋子/小林久夫/佐藤みつえ/しーちゃん/篠原輝雄/白山タツ子/菜/鈴木秀和/高橋和子/滝澤友子/千葉景義/月井誠一/寺田浩美/遠山定子/時庭順子/とっこねえ/富田新/永野彩/長峰溪将/永山宏美/那須塩原市市民活動センター/西戸雅子/初山久子/人見孝史/平井あけみ/丸惣精肉店/室井洸一/室井順一/養田典子/吉村一幸/F・I/K2 (敬称略・五十音順)

監修：平野敏明(那須塩原市動植物調査研究会副会長)





 **那須野が原博物館**
NASUNOGAHARA MUSEUM
〒329-2752 栃木県那須塩原市三島5丁目1番地
TEL 0287-36-0949 FAX 0287-36-0979